

あ と が き

学校経営の民主化にかかわる教職員の経営参加について、教育目標・職員会議・校務分掌を中心に、教務主任からみた現場での問題点や意識を探ってきた。しかし、調査項目・方法等の不備もあいまって結果的には概括的な握にとどまったきらいがある。調査の手続きや分析法において、相当厳密な手法を用いなければ、目的を達成するためのまとめはできないということを今更のように痛感している。

ところで、本調査についての回答者(教務主任)の方々から、「学校経営の現代化、自己の立場の反省・評価等これからの仕事の上で参考になった」とか、「現場へ一日も早く成果を流してほしい」とか、「答えるに良かったところもあるが、自分なりに考えて記入した」等々多数の激励やら助言を頂戴したことについて、私たち研修員一同、深く感謝申し上げたい。

この調査研究が、今後の研究の捨て石ともなれば、まことにこの上もない喜びとするところである。

この調査研究を進めるに当たって、県下の関係小・中学校の校長先生方・教務主任の先生方に、校務多忙の時間をさいてご協力を戴いたことに対して厚く御礼申し上げるとともに、調査問題の設定からまとめに至るまで献身的なお世話・指導助言をしていただいた教育センター倉田信男先生に対してこれまた深甚な敬意と感謝を表するものである。

一追記一 この調査研究は初めての共同研究であったので、その長所・短所について付言しておきたい。

(1) 長 所

- ① 多面的な見方・考え方で話し合ったので、研究内容の深まりに役立った。
- ② 小・中学校の校種の違いからくる実態が克明に討議され比較することができた。
- ③ 研修員同志の人間関係において親愛感がよりいっそう深まり、集団での磨き合いが高まった。

(2) 短 所

- ① 研究テーマを個々に持ち寄ってきて仕事を始めた関係上、共同の研究テーマは煮つまるまでの時間がかかった。
- ② 研究内容の構成の面での問題点は別になかったが、仕事量の平均化という点ではやはりむずかしい。
- ③ 中間検討の際、時間がかかりすぎた。(勤務地が離れているので研修日までの期間の意志の疎通が困難であったり、表記の形式や、文章のニュアンスの差がみられたため)

以上、三点ずつ概略してみたが、やはり共同研修であってよかったとつくづく感じている。倉田先生のご指導のもとで、6人が持てる力をフルに出し合い、長期研修を続けて来たことは、これからの個々の研究、あるいは人間関係の上で非常に有益であり、意義深いものであった。